

EFAFF:Environmentally Friendly Agriculture, Forestry and Fisheries

EFAFF2005 (第6回 農林水産環境展)

「人と自然との共生を目指して」をテーマに
2005年11月29日(火)から12月2日(金)の4日間、
幕張メッセにて開催

農林水産環境展実行委員会(委員長:今村 奈良臣 東京大学 名誉教授)は、2005年11月29日(火)～12月2日(金)の4日間、幕張メッセ(千葉市美浜区)において『EFAFF 2005 (第6回 農林水産環境展)』を開催します。

本展示会は「人と自然との共生を目指して ～農林水産業におけるバイオマス利活用と環境対策～」をテーマに今年で6回目を迎え、環境保全を目的とした農業、畜産業、林業、水産業、食品工業、および農村振興の各分野での様々な取り組みを紹介する展示を行っており、関係各方面から高い評価を得ていると同時に、来場者数も年々着実に増加しています。今回は展示方法を環境対策の要素技術ごとに、来場者の環境問題に関する理解と目的意識を更に向上してもらうために「バイオマスコーナー」「水処理コーナー」「環境保全コーナー」「衛生コーナー」「プロダクトコーナー」および特別企画コーナーで構成し、環境保全を重視した施策展開や食の安全・安心に役立つ情報を提供する内容で開催いたします。

農林水産省では、2003年12月に「農林水産環境施策の基本方針」を策定し、環境保全を重視する農林水産業への移行を目指し様々な施策を推進しています。その中でも、バイオマスについては、持続的に発展可能な社会「バイオマス・ニッポン」の実現に向け、2004年8月から全国の自治体から「バイオマスタウン構想」を募集しています。本展示会でもこの動きを支援し、会期中の12月1日(木)には「バイオマスタウン普及セミナー」を開催します。2010年までに500程度を目標とする中、既に構想書を作成した北海道留萌市、長野県安曇野市、沖縄県伊江村の3自治体の担当者からそれぞれの地域特性を活かした構想書の作成に至った経緯や経験談を発表、ならびにパネルディスカッションを行います。

同セミナーを通じてバイオマスタウン構想を推進するための地域的観点のソフト部分を、展示コーナーを通じて技術的観点の出展団体のハード部分を一度に見聞きすることで、今後のバイオマスタウン構想の普及を啓発していく考えです。

また、併催催事の「第6回農林水産環境シンポジウム」では、地域ごとのバイオマス利活用等について発表を行う「有機性資源循環利用グリーンフォーラム～バイオマス総合利活用とバイオマスタウンの構築～」等を実施。『EFAFF2005 (第6回農林水産環境展)』は、このような展示やセミナー、シンポジウムプログラムを通じ、「バイオマス・ニッポン」実現に向けた活動を支援します。

『EFAFF2005 (第6回農林水産環境展)』の開催概要、「第6回農林水産環境シンポジウム」につきましては、次頁以降をご参照ください。

『EFAFF 2005』開催概要

- ◆ 名称 : EFAFF 2005 (第6回農林水産環境展)
EFAFF:Environmentally Friendly Agriculture, Forestry and Fisheries
- ◆ 開催期間 : 2005年11月29日(火)～12月2日(金) 10:00～17:00
(最終日は16:00)
- ◆ 会場 : 幕張メッセ 国際展示場 展示ホール 6
(千葉市美浜区中瀬2-1 TEL: 043-296-0001)
- ◆ 主催 : 農林水産環境展実行委員会
 委員長 東京大学 名誉教授 今村 奈良臣
 委員 (財) 農業技術協会 会長 貝沼 圭二
 (社) 地域資源循環技術センター 理事長 黒澤 正敬
 (財) 畜産環境整備機構 理事長 今藤 洋海
 全国森林組合連合会 代表理事 飯塚 昌男
 (社) 海と渚環境美化推進機構 理事長 植村 正治
 (社) 日本有機資源協会 会長 熊澤 喜久雄
 事務局 (株) 環境新聞社 社長 波田 幸夫
- ◆ テーマ : 人と自然との共生を目指して
～農林水産業におけるバイオマス利活用と環境対策～
- ◆ 後援 : 農林水産省／環境省／国土交通省／経済産業省／全国知事会／全国市長会
／全国町村会／千葉県／社団法人千葉県商工会議所連合会／千葉商工会議所
- ◆ 入場料 : 一般 1,000円／学生 500円(高校・大学)／団体 800円(10名以上)
- ◆ 同時開催 : ウェステック2005(主催:ウェステック実行委員会)(11/29～12/2)
河川環境展2005(主催:河川環境展実行委員会)(11/29～12/2)
分散型エネルギーシステム総合展(主催:IPEX実行委員会)(11/30～12/2)

EFAFF 2005展示コーナー

EFAFF2005 (第6回農林水産環境展)				
バイオマスコーナー	水処理コーナー	環境保全コーナー	衛生コーナー	プロダクトコーナー
バイオマスエネルギー関係	污水处理関係 水質浄化関係	環境保全型農業関係	畜産衛生関係 食品安全・衛生関係	間伐材関係 物産関係
コンポスト関係		農山漁村の環境・景観整備		
炭化・乾燥関係		森林整備関係		
バイオマスプラスチック関係		温暖化対策への取組		
分析・測定関係				

特別企画コーナーのご案内

◆大学展示コーナー

農林水産環境の分野では、バイオマスの利活用といった、産業と大学が一体となった研究開発の取り組みが重要になってきています。そこで、今回そのため、企業による機器や技術の展示だけではなく、農林水産業関係の各大学での環境保全に関する研究などの成果をも紹介していきます。

◆NPO・NGO交流コーナー

人と農山漁村との共存を目指し、農林水産における環境保全を実現するには、機器・装置メーカーによる設備の導入による対策だけでなく、NPOやNGO等の草の根的な団体や研究グループによる取り組みが欠かせません。そのため本年度は、企業による機器や技術の展示だけではなく、農林水産業の環境保全分野で地に根ざした活動を行う団体の方々のPRと情報交換の場を設けます。

◆バイオマスプラスチックゾーン

バイオマスプラスチックの普及促進を目的として、バイオマスプラスチック製品を展示する出展ゾーンを設け、PRを図ります。(次頁へ続く)

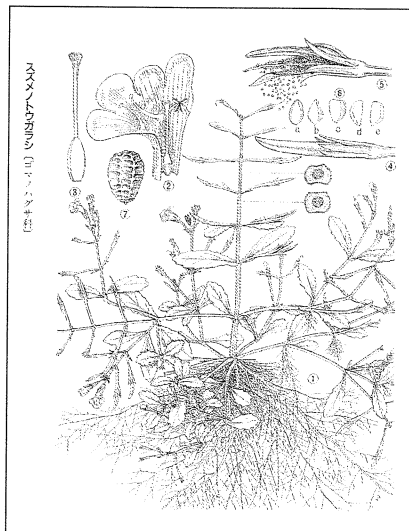
植物生態図鑑の決定版

浅野貞夫日本植物生態図鑑

A4判、636頁(うちカラー40頁) 定価13,000円+税

わが国には植物の分類図鑑は数多く出版されているが、本格的な植物生態図鑑は皆無に等しい。本書は植物を生態学的にとらえ、環境、気候、植物季節、種子重量、休眠型、散布器官型、地下器官型、生育型等を図と解説で判るように編集した本格的な植物生態図鑑である。

著者浅野貞夫は、植物の一生を追跡しながら春～冬、芽ばえ、花から果実、種子、休眠芽まで、特に休眠芽は季節、季節に根を掘り克明に観察し、1種類の植物の一生を2～3年かけて完成した。こうして50有余年をかけて555種類の植物図を完成した。これを1冊にしたのが本書で、日本は勿論、世界でも類を見ない植物生態図鑑である。



全国農村教育協会

東京都台東区台東1-26-6 〒110-0016

電話 03 (3839) 9160 (営業) FAX 03 (3839) 9172 (営業)
http://www.zennokyo.co.jp e-mail:hon@zennokyo.co.jp

【併催催事】第6回農林水産環境シンポジウム

＜開催日＞2005年11月30日（水）～12月2日（金）

＜会場＞幕張メッセ 国際会議場

日 時	会 場	プログラム内容
11/30（水）	302会議室	有機性資源循環利用グリーンフォーラム ～バイオマス総合利活用とバイオマスタウンの構築～ 主催：社団法人日本有機資源協会
	303会議室	全国海浜ゴミ調査報告会 主催：社団法人海と渚環境美化推進機構
12/1（木）	コンベンションホールB	みんなで取り組む環境保全型農業～やってみよう！農業環境規範～ （平成17年度持続性の高い農業生産方式に関する技術研修会） 主催：全国環境保全型農業推進会議
	302会議室	食の安全・安心システムを考える最前線！～食品安全ネットワークセミナー～ 『ISO22000をどこよりも早く、如何に取り込むか？』 主催：食品安全ネットワーク
12/2（金）	国際会議室	人・家畜・農村を取り巻く資源循環の構築を目指して －水資源及び有機性資源の利活用技術・評価手法の成果－ （平成17年度農業土木学会資源循環研究部会 研究発表会） 主催：（社）農業土木学会 資源循環研究部会
11/30（水）	展示会場特設ステージ	農山村における自然環境の再生と資源循環 ～農山村の新機能と循環型地域社会形成の展望（環境再生医セミナー）～ 主催：NP0法人自然環境復元協会、環境新聞社
12/1（木）	展示会場特設ステージ	「バイオマスタウン普及セミナー」 主催：農林水産環境展実行委員会事務局
12/2（金）	展示会場特設ステージ	新たな農業生産環境施策の展開 －新たな制度の構築に向けた政策コミュニケーション－ 主催：農林水産省委託事業事務局：みずほ情報総研㈱

本件に関するお問い合わせ
「農林水産環境展実行委員会事務局」

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-3 第1富澤ビル 株式会社 環境新聞社 事業部

TEL：03-3359-5349 FAX：03-3359-7250

E-mail:efaff@kankyo-news.co.jp

URL＝http://www.emn.jp/efaff/